



第 103 卷 第 3 号 史学・地理学・考古学

論 説

近代日本における民間団体の朝鮮教育事業と
支援基盤……………鄭 賢 珠 (1)
——京城学堂の設立と運営——

研究ノート

日明関係における「勘合」の形状についての新知見……………伍 躍 (35)

書 評

平井松午編
『近世城下絵図の景観分析・GIS分析』……………川 名 禎 (58)

Alexander Schunka,
Die Hugenotten. Geschichte, Religion, Kultur……………林 祐 一 郎 (65)

登利谷正人著
『近代アフガニスタンの国家形成
——歴史叙述と第二次アフガン戦争前後の政治動向——』……………塩 野 崎 信 也 (72)

松田英里著
『近代日本の戦傷病者と戦争体験』……………津 田 壮 章 (78)

高橋和宏著
『ドル防衛と日米関係
——高度成長期日本の経済外交
一九五九～一九六九年——』……………范 艶 芬 (85)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

受贈誌

(二〇一九年七月一九日)

二〇一九年九月二七日)

一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委員会)四四—一

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))

一 二八—六

岩手史学研究(岩手史学会)一〇〇〇

日本史研究(日本史研究会)六八三

人文地理(人文地理学会)七一—二

日本歴史(日本歴史学会)八五五

東方學會報(東方学会)一一六

日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社

会科学院日本研究所中華日本学会)二〇

一九—三

史迹と美術(史迹美術同致会)八九六

桜井市纏向学研究センター年報(桜井市纏

向学研究センター)七(二〇一九)

史學研究(廣島史學研究会)三〇三

東方學(東方學會)一三八

九州国際大学教養研究(九州国際大学教養

学会)二六一—

中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研

究院歴史語言研究所)九〇—二

鹿児島経済論集(鹿児島国際大学経済学部

学会)六〇—一

東北文化研究室紀要(東北大学文学研究科

東北文化研究室)六〇

東北文化資料叢書(東北大学大学院文学研

究科東北文化研究室)一二

西洋史学報(広島西洋史学研究会)四六

龍谷史壇(龍谷史学会)一四八

経済研究(一橋大学経済研究所)七〇—三

史學(三田史学会)八八—二

神道史研究(神道史学会)六七—一

同朋大学佛教文化研究所紀要(同朋大学仏

教文化研究所)三八

同朋大学佛教文化研究所報(同朋大学佛教

文化研究所)三二

神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会)

三四

海南史學(高知海南史学会)五七

信濃(信濃史学会)七一—八

立命館産業社会論集(立命館産業社会学

会)五五—一

茨城大学人文社会科学部紀要人文コミュニ

ケーション論集(茨城大学人文社会科学

学部)四

茨城大学人文社会科学部紀要社会科学論集

(茨城大学人文社会科学部)四

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The Official

Journal of THE ANTHROPOLOGICAL

SOCIETY OF JAPAN) 一二七—一

日本史研究(日本史研究会)六八四

政大史粹(政大史粹編纂小組)第三三期

日本歴史(日本歴史学会)八五六

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内))

一 二八—七

九州国際大学 国際・経済論集(九州国際

大学現代ビジネス学会)四

社会経済史学(社会経済史学会)八五—二

史迹と美術(史迹美術同致会)八九七

国家學會雜誌(国家学会事務所)一三二—

七・八

立命館法學(立命館大学法学会)三八四

紀尾井論叢(上智大学Scientia)六

三康文化研究所年報(三康文化研究所)五

〇

史創(史創研究会)九

経済論叢(京都大学経済学会)一九三—一

—二

信濃(信濃史学会)七一—九

日本民俗学(日本民俗学会)二九九

三康文化研究所報(三康文化研究所)五

四

- 立命館国際平和ミュージアム日より（立命館国際平和ミュージアム）二七一一
立命館国際平和ミュージアム日より（立命館国際平和ミュージアム）二七一一
東洋史研究（東洋史研究会）七八―二
史學雜誌（史學會）（東京大学文学部内）二二八―八
日本史研究（日本史研究会）六八五
日本学刊 JAPANESE STUDIES（中国社会科学院日本研究所中華日本学会）二〇一九・四
日本学刊 JAPANESE STUDIES（中国社会科学院日本研究所中華日本学会）二〇一九・増刊
鳴台史学（大正大学史學會）一五五
史観（早稲田大学史学会）一八一
奈良文化財研究所概要（奈良文化財研究所）二〇一九

編集後記

新型コロナウイルスの世界的流行が私達の日常生活を一変させてから、早くも半年が過ぎました。この間、行政や医療機関が新たに求めた「三密回避」等の規制は、自

己と他者の生命の保全を最優先する私達の絶対的規範になったように感じます。

本会は、偶然にも、昨年の例会にて「病」を統一テーマとし、その成果を本年一号に掲載しました。各論説に目を通すと、「病」の歴史を考えるうえで興味深いものが多いように思います。とりわけ、二〇世紀初頭のドイツ領アフリカの感染症「眠り病」を取りあげた磯部裕幸論説は、科学者を含め統治国が周到に立てた計画どおりに予防が実現しない、現地の人々の複雑で不寛容な対応を描き出しています。このような複雑さは、多くの「西洋近代」の資料に「野蠻」「頑迷」「無知」等の非合理なものとして形容されてきた現地の古くからの慣習や伝統に起因するのみならず、植民地であるからこそ新たに生じた現地の利害や規範が、縦横に絡み合っただけのもの。また、その実状は、植民地のみならず、地域によって大きく異なっています。

今日の新型コロナウイルスが、先進諸国においても拡大している現状を鑑みる時、各地の流行の相違は医療や保健の充実度や政府や行政による対策の違いだけでは説明できないように感じます。このような複雑

に絡み合った「病」に対する各社会における対応を歴史的に紐解き、その構造の成り立ちや変化を丁寧に解明することは、歴史学に課された固有の課題の一端であると思います。さて、本号は、論説と研究ノートを各一本、書評五本を掲載しました。何れも力作です。是非とも御一読ください。

また、近年、会員の皆様からの論説の投稿が減少傾向にあります。日頃から研鑽された成果を発表する場として、奮って御投稿ください。心からお待ちしております。
(白木正俊)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkuyukai.jp/index.html>

二〇二〇年五月二五日印刷
二〇二〇年五月三二日発行
定価一、二〇〇円

史 林 第一〇三巻第三号（通算第五四一号）

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学部研究科内

電話（〇七五）七五三二二七八七
FAX（〇七五）七五三二二七八七

発行人 史学研究会

振替京都〇二〇七〇二二五二五五番
理事長 田中和子

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽藤田二九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. CIII No. 3

May 2020

CONTENTS

Article :

- JUNG Hyunju, The Foundation of Support for the Private Korean Education Project in Modern Japan, Focusing on the Foundation and Management of Keijō Gakudō (1)

Note :

- WU Yue, New Insights on the Format of Authorization Tallies (勘合) Used in Relations between Japan and the Ming Dynasty (35)

Book reviews :

- HIRAI Shogo (ed), *An Analysis of Maps of Early Modern Japanese Castle Towns* (Kawana Tadashi) (58)
- Alexander Schunka, *Die Hugenotten. Geschichte, Religion, Kultur* (HAYASHI Yuichiro) (65)
- TORIYA Masato, *The Formation of the Modern Nation of Afghanistan: Historical Description and Political Trends after the Second Anglo-Afghan War* (SHIONOZAKI Shinya) (72)
- MATSUDA Eri, *War Experiences of Disabled War Veterans in Modern Japan* (TSUDA Takeaki) (78)
- TAKAHASHI Kazuhiro, *Defending the Dollar: The US Balance of Payment Problems and Japan-US Relations (1959-1969)* (FAN Yanfen) (85)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円

ISSN 0386-9369